

2019年度 上半期トピックス紹介

経営企画室

前々号(vol.55)では、2019年度を迎えるにあたってのTPECの組織体制や会社方針の概要についてご紹介致しました。

今号では、会社方針のポイント補足説明と、方針達成に向けた活動をご紹介します。

◆2019年度会社方針

重点テーマⅠ 安心・安全で社会から信頼される会社づくり

安全	一人ひとりの意識の醸成と、労働災害・交通加害事故“ゼロ”に拘った取組みの実践
健康	主体的な健康活動へのシフトなど、健康優良法人に相応しい活動の継続
コンプライアンス	絶対に違反を起こさないための各部自浄作用の強化と主幹部署の自立性向上
防災	BCM体制確立と“自分の身は自分で守る”一人ひとりの防災意識向上

重点テーマⅡ [担う]既存業務の効率化と新領域の拡大

生産性向上	マネジメント強化と要素技術の適用拡大
ターンキー	DEを更に活用したTPECらしい生産業務遂行
新領域	電動化や軽量化の手の内化と海外・B/M支援

重点テーマⅢ [変える]DE革新による業務プロセス改革

デジタルツイン	要素技術の高度化によるDE革新
生産/DE	工程軸の効率化に繋がる技術開発促進
開発	戦略的な計画立案と社内外連携による開発加速
物販	工程×開発×営業一体となった物販活動
IoT	技術力の向上と適用拡大に向けた体制強化

～[担う][変える]両方に関わる取組み～

T-PEQ's	品質を軸に工程・設備情報を連携させたDEシステム構築
将来像	ビジネスモデルの展開と着実な実行による事業の確立

重点テーマⅣ [基盤固め] Smiles for All Stakeholders

働き方改革	TPECらしい“働き方改革”的推進
体制構築	戦略的且つフレキシブルな体制構築

●新組織紹介

10月より「デジタルエンジニアリング革新室」を新設し、下記の狙いで開発機能を一元化。更なる競争力強化を進めます。

エンジニアリング本部

デジタルエンジニアリング革新室

新設

右記の目的実現のため、これまで
点在していた様々な機能をDE革
新室に集約

①各ショップと連携したT-PEQ'sの開発加速

②T-PEQ'sを活用したデジタルエンジニアリング手法の展開

③トヨタ自動車(株)様とのデジタルエンジニアリング開発連携強化

これらの取組みを促進することで、経営理念の根底に立ち返りながら“常に情熱をもってデジタルエンジニアリングを革新し、モノづくりに貢献”を、持続的に実現してまいります。

●経営陣MTG紹介

上記方針の達成に向けた方策について議論される場は、経営陣による以下のような会議体です。

役員MTG(隔週)



役員に対して、ヒト・モノ・カネに関する重要なテーマの相談や決裁、また方針の進捗、来期への見通しなど、方向について議論する場です。

決裁事項については、隨時役員・部長MTGにて社内展開しています。

M3(Monday Morning Meeting、毎週)



役員間での情報共有や会社全般に関する状況の確認などをを行う会議体です。

役員の1週間の行動予定から会社方針の進捗状況の確認まで、幅広いテーマで議論を実施します。

●上記活動を企画・運営する「経営企画室」

ここでご紹介した会社方針の立案や経営に関する企画は、T-time1面の執筆も担当している「経営企画室」が担当しております。室のおもなミッションは下記の2つです。

1) 会社方針や経営に関する企画と実行

2) 各種特命業務の遂行

経営企画室では、より強い企業体質づくりに向けたさまざまな企画・運営を進めています。大きくはVISION、年度方針などの全社活動推進、より身近なところではT-timeの1面での会社動向の展開など、社内外多くの方々に関わる部署です。

そんな経営企画室に今年はnew faceとして新たなメンバーを迎えました。Excellent Companyに向かって一緒にがんばりましょう！



▲経営企画室メンバー

TMC車両系生技部長デジタルラボご視察

●「良い車づくり」に向けた連携確認 〈8月8日(木)、9日(金)〉

TPECのことをもっと知って頂き、デジタルを中心とした業務連携を更に加速するため、TMC生技管理部の古屋敷部長を始め車両系生技各部の部室長に本社をご視察頂きました。初めてTPECにお越し頂く方も多く、TPECの歴史～体制、産官学連携や地域貢献活動の取り組み等、元町オフィスでは伝えきれないTPECの姿を紹介させて頂きました。またデジタルラボにおける技術紹介では、応力発光塗料や物理エンジン、ワイヤレスメジャー、VRなど、実物を中心のご確認頂き、「すぐ使いたい、サンプルが欲しい」「こうすればもっとよくなる」など、貴重なご意見やご要望も数多く頂戴致しました。今後、早々にトライの計画や次期開発につなぐべく実務担当者様への紹介、また、TMCとの開発の重複を避けるため技術の棚卸しや役割分担などを進めていくなど、活発な意見交換もさせて頂きました。

『良い車づくり』に向け大変有意義な機会となりました。お越し頂いた皆様、本当にありがとうございました。



▲商品紹介の様子



▲ご来社ありがとうございました！

DE実務者連絡会

ボデー・塗装ENG部

●ユーザーの皆様に感謝をこめて 〈7月12日(金)、19日(金)〉

TPECにて開発・販売・サポートを行っているCAROTT3及びbisのユーザー各社（TMC、ボデーメーカー、設備メーカー）の皆様向けに、今年で13回目となるDE実務者連絡会を開催しました。

福岡本社、名古屋の2拠点で開催しCAROTT3、bis、TPECデジタルツールの最新機能や活用事例を紹介しました。今年は新たに三次元計測ソフト「PolyWorks」をコンテンツに加えたことで、部品メーカーの皆様にも多数ご参加いただき、過去最多の参加者数（48社146人）となりました。

また懇親会においては、各社様々な方との交流を行いながら、実務者から要望や困り事など生の声をお伺いできましたので、今後の開発計画への織り込みとフィードバックを実施していきたいと思います。今後も実務者の方々と密接に連携しながら、よりよいDE*の活用に向け、邁進していきます！



▲各部協力のもと、パネル21点を展示、紹介



▲プレゼンテーションの様子@名古屋会場

TPECデジタル技術展示会

技術営業推進G

●TPECデジタル技術展開催 〈8月7日(水)@プライムアースEVエナジー〉

電動化が加速する中、ハイブリッド車をはじめとするエコカー用電池メーカーであるプライムアースEVエナジー様の生産支援を始めさせていただいている。TPECのデジタル技術を更に知つていただくためにデジタル技術展を開催しました。社内のエンジニアリング部のメンバーを中心に技術開発室、技術営業推進Gが連携し技術展を運営し、ビジネスセンスの向上を図りました。

当日は技術・生技・製造担当の多くのお客様にご来場いただき、TPECのデジタル技術に関心を持っていただき、「す



▲展示会ポスター

ぐに活用したい」とのお声もいただきました。中でもラインシミュレーション、気流可視化については関心も高く活用に向けて検討をいただけております。

今後もお客様の困りごとを吸い上げ技術開発を行い、多くのお客様にご活用いただけるように進めてまいります。



▲VRを使った紹介



▲説明の様子

第2回ビジネスアイデアコンテスト

技術開発室

●今年も続々！ビジネスアイデア 〈9月13日(金)〉

エンジニアリングセンス＆ビジネスセンス醸成の為に、社内ビジネスアイデアコンテストを昨年に引き続き実施。36件のエントリーがあり、各部代表者による投票で上位10組を選抜し、福岡本社で決勝大会を開催しました。

今年は発表の他に質疑応答も英語で行う組が現れて、社内の英語教育の成果による従業員の成長を感じることができました。発表時間4分でいかにわかりやすく伝える事ができるか？審査員からの質問に対して端的に回答できたか？事業性はあるのか？といった観点で、①事業化②アイデア③プレゼンアピール④英語の4分野で役員が審査を実施。

今回も軽食提供と発表者の音楽での入場など、趣向を凝らしました。

今年の優秀賞は右記。即実施できる案件は、今後開発審議会で承認を得て開発開始となります。

受賞部門	件名	受賞理由
事業化賞	目に見えないもの見える化する特殊ライトの開発	事業化・アイデア分野での高得点
プレゼンアピール賞	ロボット実機再現ティーチシステム	アイデア・プレゼンアピールでの高得点
社長インパクト賞	生産ウォッチ（エンジニア業務を補助するツール開発）	英語分野での高得点



▲商品化のイメージも表現してプレゼン



▲英語での発表と質疑応答



▲たくさんのご来場ありがとうございました！